

熊本県立豊野少年自然の家 指定管理者 令和2年度(2020年度)  
管理運営評価票

所管部課:教育庁市町村教育局社会教育課

施設の管理概要

指定管理者名	ひとつくりJAPANネットワーク・三勢共同体
指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
施設概要	<p>所在：宇城市豊野町山崎1775</p> <p>施設：宿泊棟、プレイホール、キャンプ場等</p> <p>目的：本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。</p>
指定管理料	319,799,000円(4施設(天草青年の家、菊池少年自然の家、豊野少年自然の家、あしきた青少年の家)を一括で委託、利用料金制)

管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	27,233人	10,685人	前年度実績32,138人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く

【点検・調査結果及び評価】

新型コロナウイルスの影響で4月から6月まで休館し、開館期間中も受入数を定員の概ね半数を目安とした影響で、研修者延べ数は大きく減少したがやむを得ないものと認められる。

県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しており、期間中の事故発生は0であった点については評価できる。

2 管理業務実施状況  
 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	ボイラー運転監視	通年	
保守点検	自家用電気工作物点検	月1回	専門業者に委託
	昇降機設備保守点検	月1回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	空気環境測定	年6回	
	害虫駆除	年1回	専門業者に委託
	受水槽・高架水槽清掃	年1回	同上
	水質検査（残留塩素）	週1回	
	水質検査	年2回	専門業者に委託
	浄化槽保守点検	月4回	同上
	自家発電設備点検	年2回	同上
	アスレチック設備点検	年1回	同上
	塩素滅菌設備点検	月1回	同上
	浄化槽法定点検	年1回	同上
建築設備定期点検	年1回		
【点検・調査結果及び評価】			
施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおり専門業者が実施、頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。			

## 運営事業実績

### 〔主な事業・イベント〕

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
Nature Family Land (全4回)	7~2月	82人	キャンプ活動を通して家族の親睦を深めるとともに、キャンプスキルと楽しさを学ぶ。また、自然に触れることで子どもたちの感受性や自主性を育む。
とよドン家パーク(夏、秋、冬各1回)	7,11,1月	323人	自然の家に気軽に足を運んでもらうことで、身近な施設と感じてもらうとともに、自然の中でのびのびと活動する場所や機会を提供する。
森のようちえんもくもく(全8回)	6~3月	173人	田畑で土に触れる、季節の食材を食すなど様々な自然体験活動や地域の方々との交流をとおして、保護者と一緒に乳幼児期の子ども達の豊かな感覚や感性を引き出し、育てる。
宿泊教室担当者セミナー(全5回)	8~12月	67人	・宿泊教室を実施するにあたっての意義と利用方法について、学校担当者の理解と意識の高揚を図り、充実した指導ができるようにする。 ・プログラムの作成についてその方法を確認し、学校の狙いを達成する手助けとする。
げんキッズキャンプ ~秋編~	9/12,13	30人	様々な体験活動をおして仲間と協力する大切さを学ぶとともに、何事にも積極的にチャレンジする心を育てる。
あそびーと!自然体験隊(全2回)	11~1月	39人	様々な体験活動をおして仲間と協力する大切さを学ぶとともに、何事にも積極的にチャレンジする心を育てる。
キャンプ事業サポート	12/5	8人	アウトドア活動に興味がある方を対象に、職員の専門性を活かし、事前の計画から当日の運営までのアドバイスやサポートを行う。また本事業をおして、自然の家の利用方法を周知し、今後の自然の家の利用促進を図るとともに、自然体験への興味・関心を高める。

#### 【点検・調査結果及び評価】

新型コロナウイルスの影響で、6月までの事業が中止・延期になるなど年間の計画を大幅に見直しての実施となった。大人数を集めての事業の実施は難しかったが、広報の手法を工夫し、家族での参加を促せる事業を行った他、感染症対策を踏まえた活動内容を企画する等、臨機応変な対応を行ったことは評価できる。

### 3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	294 日	320 日	91.9%
	宿泊可能日数	293 日	317 日	92.4%
	利用日数	166 日	257 日	64.6%
	利用率	56.5%	80.3%	70.3%
	利用者実数	5,725 人	9,842 人	58.2%
	利用者延べ数	9,438 人	21,057 人	44.8%
キャンプ場	開館日数	294 日	320 日	91.9%
	宿泊可能日数	293 日	317 日	92.4%
	利用日数	2 日	16 日	12.5%
	利用率	0.7%	5.0%	13.6%
	利用者実数	14 人	184 人	7.6%
	利用者延べ数	28 人	376 人	7.4%
出前講座等	利用者実数	502 人	10,705 人	4.7%
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>今年度の目標だった大学のサークルや、スポーツクラブへの営業を、新型コロナウイルスの影響で自粛せざるを得ず、新規の利用者獲得につなげることができなかった点はやむを得ないと思われる。施設の休所や制限付きでの運営等、県と連携の上、適切に対処を行った。</p>				

### 4 管理経費の収支状況

収入			
項目		内訳	金額(円)
利用料金収入	本館	一般 368 人、高校生以下 3,218 人、就学前の者 76 人	1,090,600
	キャンプ場	一般 0 人、高校生以下 0 人、就学前の者 0 人	0
	宿泊を伴わない利用	一般 418 人、高校生以下 883 人、就学前の者 226 人	85,950
指定管理料		指定管理者による本施設への振り分け(うち、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う指定管理料の事業継続支援分)	62,391,000 (2,678,000)
企画事業等収入		12 事業	228,950
その他活動収入		出前講座 17 団体	39,100
プログラム活動料金			159,050
食事代			7,036,550
シーツ等クリーニング代			574,460
雑収入			58,858
合計			71,664,518
		収入未済額	0
		うち利用料金収入分	

支出		
項目	内訳	金額(円)
人件費		41,663,486
運営管理費	旅費、管理費、活動プログラム費等	4,842,618
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	21,001,364
企画事業費		111,655
合計		67,619,123

【点検・調査結果及び評価】

利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。新型コロナウイルスの影響で収入が減少する中、維持管理費等の削減取組により、支出の抑制につなげた。今後は予防保全の視点も踏まえた施設管理に取り組んでほしい。

## 5 利用者調査結果

調査実施 内容	調査年月日	令和2年6月1日～令和3年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	108団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	82	75.9	23	21.3	3	2.8	0	0	0	0	0	0
	活動内容	55	50.9	23	21.3	2	1.9	0	0	0	0	28	25.9
	職員の受入れ対応	87	80.6	17	15.7	4	3.7	0	0	0	0	0	0
	職員の指導・助言	85	78.7	18	16.7	4	3.7	0	0	0	0	1	0.9
	食堂スタッフの対応	60	55.6	17	15.7	3	2.8	0	0	0	0	28	25.9
	食事の質	54	50.0	19	17.6	8	7.4	0	0	0	0	27	25.0
	食事の量	53	49.1	22	20.4	5	4.6	1	0.9	0	0	27	25.0
	屋内の施設・環境	74	68.5	27	25.0	5	4.6	0	0	0	0	2	1.9
	屋外の施設・環境	58	53.7	27	25.0	8	7.4	1	0.9	0	0	14	13.0
また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答		
	79	73.1			28	25.9			0	0	1	0.9	

利用者からの意見等

【点検・調査結果及び評価】

全ての項目で「非常によい」「よい」の評価を多く得ることができており、概ね利用者の満足度は高いと言える。また感染症対策を徹底したことで、ほとんどの団体から「安心して利用することができた」という評価を得ることができている。

## 6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
食事の量が少なかった（スポーツ団体）	以前も同様の意見をいただいたことがあるため、スポーツ団体に対しては申込み時に食事の追加注文（炊き上がり米）を促している。伝え方の工夫や食事注文後に再確認をするなど徹底を図る。
<b>【点検・調査結果及び評価】</b> 利用者からの意見に対しては、真摯に改善に取り組んでおり、対策が取られている。	

## 7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
定員に対して申し込みが多い事業については、定員を増やしたり、開催回数を増やすなど、利用者の要望にできる限り応える体制をとってほしい。	新型コロナウイルスの影響もあり、今年度は対象を増やして対応することができなかったが、より多くの方に参加していただくために、コロナ禍でもできる内容を精査し、開催日を増やして実施するなど、できるだけ中止せずに開催できる方法を検討しながら対応されている。 またやむを得ず中止した事業については、対象や内容を変更して追加で実施することで、より多くの方に体験活動の機会や場を提供した。
利用者アンケートの自由記述欄や活動中の利用者の声などから利用者のニーズをくみ取り、サービスレベルの向上を図ってほしい。	アスレチックの充実やハイキングコース上のトイレ整備など、施設・設備面に関する意見があり、県と連携の上、対応を進めた。
<b>【点検・調査結果及び評価】</b> 新型コロナウイルスの影響で、当初の予定通りの事業が実施できなかったが、感染者の少ない時期に、迅速に企画を実施する等、利用者のニーズに臨機応変に対応することができている。また、利用者からの意見に対しても、指定管理者で対応できる部分は真摯に取り組まれている。	

## 8 その他

特になし
------